



府中市が目指す将来像を総合計画で創り、その将来像への道筋を計画・ビジョンで示します。

目指す  
府中の  
将来像

健康ふちゅう21

地域福祉計画

障害者福祉計画

子ども・子育て支援 事業計画

グランドデザイン

地域IoT実装計画

産業振興ビジョン

観光振興ビジョン

第6回目2月広報掲載

第5回目1月広 報掲載

第4回目12月広報掲載

第3回目11月広報掲載

第2回目10月広報掲載

第1回目9月広報掲載

第7回目

## 第3次府中市地域福祉計画

### オール府中で支え合い、誰もがつながる地域づくり

#### 府中市の目指す姿

地域活動への参加を通じ、市と地域、企業などのさまざまな主体がつながり、多様な主体が「我が事」として、見守り、支え合うことで孤立を防ぐ地域ができる。  
日常生活の不安や、困りごとを抱える人を早期に発見し、支え、安心につなげることでできるネットワークが構築される。

なぜ、  
目指すのか。

#### これまで

地域や家族同士の助け合いなど、地域・家庭・職場といった人々の生活のさまざまな場面において、支え合いの機能が存在しました。また、地域や家庭が果たしてきた役割の一部を補完するものとして、社会保障制度が整備されてきました。

#### 課題

高齢化や人口減少が進み、地域・家庭・職場という人々の生活領域における支え合いの基盤が弱まってきています。多くの地域で担い手が減少し、さまざまな課題が顕在化しています。  
地域社会の存続への危機感が生まれる中、地域社会全体を支えていくことが、これまでも増して重要となっています。

#### 将来

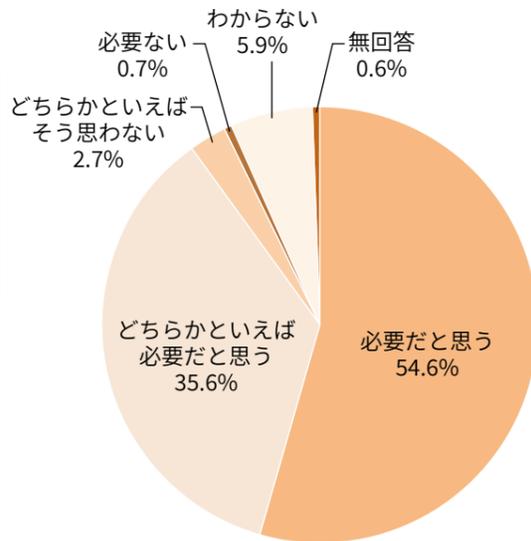
制度・分野の枠や、支える側、支えられる側という従来の関係を超える地域共生社会  
人と人、人と社会がつながり、一人一人が生きがいや役割を持ち、助け合いながら暮らしていくことのできる、包摂的なコミュニティ、地域や社会をつくるという地域共生社会という理念を掲げ、取り組んで行くことが期待されています。

市民アンケートより

問

あなたは住民相互の助け合いについてどのように思いますか。

「必要だと思う」が54.6%で最も多く、「どちらかといえば必要だと思う」と合わせると、9割以上の方が必要と感じています。



国

の動向と同様に、府中市でも少子高齢化が進行しており、支援を必要とする人たちを地域社会全体で支える体制を整備していくため、府中市地域福祉計画に基づき、行政、地域住民、福祉関係者、企業などの協働により、さらなる地域福祉の充実を図り、地域住民がお互い支え合いながら、市民自らがつくる地域共生社会の実現を目指します。

市民アンケートより

項目	回答(%)
安否確認（声かけ訪問）	70.1
話し相手	53.1
災害時の避難支援	29.7
ごみ出し	29.1
外出時の車等による送迎	20.6
市役所などへの届け出や連絡	16.9
特にない	14.3
電球の交換	11.9
子どもの預かり	5.4
病院などの付き添い	5.0
買い物・食事の世話	4.6

問  
近所の方々が困っているときにあなたが助けたいことは何ですか。

項目	回答(%)
安否確認（声かけ訪問）	49.3
災害時の避難支援	29.7
話し相手	27.7
特にない	27.1
外出時の車等による送迎	17.4
ごみ出し	16.1
市役所などへの届け出や連絡	12.4
買い物・食事の世話	9.6
急病時の看病や家族の世話	7.0
病院などの付き添い	6.1

問  
あなたが今後困ったときに、近所の方々に助けたいことは何ですか。

※少数の意見は省略しています。計画では、全て示しています。

#### 基本目標1

地域福祉推進体制づくり

人口減少、高齢社会の中で、地域で健康に過ごすためには、誰もが役割を持ち、生きがいを持って活躍することが必要です。

地域に暮らす全ての人が、地域や暮らしをともに創っていく地域共生社会の実現を目指します。

地域活動を担う人材を育成し、身近な課題に気が付き、解決できる人づくりや活動の場づくりなど、地域福祉を担う資源の充実に向けた取り組みを推進します。

#### 現状と課題

アンケート調査では、住民相互の助け合いについて、9割以上の方が必要と感じていますが、地域福祉活動への関心の有無として、関心があると回答した人の割合は、年齢が上がるほど高く、60代以上では6割を超えている一方、30代以下では4割と低くなっています。

#### 基本目標2

ふれあい・支え合いの地域づくり

家族化や少子高齢化の進展、共働きの増加など、ライフスタイルの変化により、地域のつながりが希薄化し、支え合える関係づくりが難しくなっています。

地域の中で、必要なときに適切な支援が行われるためには、日常生活でのあいさつや声掛けをはじめとした地域ぐるみの見守り活動や、交流を通じた顔の見える関係づくりが必要です。

地域住民のつながりづくりや、医療・保健・福祉などさまざまな分野の連携体制構築に向けた取り組みを推進します。

#### 現状と課題

必要なときに適切な支援を行うために、日ごろから地域住民が地域の課題を共有し、解決する仕組みや基盤を地域で構築することなどが求められています。

#### 基本目標3

安心して暮らせるまちづくり

地域において福祉サービスや支援を必要とする人の相談体制の充実を図るとともに、多様なサービスを利用できるよう、利用者のニーズに応じた情報が得やすい環境づくりを推進していきます。支援を必要とする人が、安心して利用できるように、社会福祉協議会や関連団体などと連携します。

住み慣れた地域で、安全・安心な暮らしを享受できるよう、保健・医療・福祉などの各種サービスの充実を図るとともに、総合的にサービスを提供できる仕組みづくりに取り組みます。

#### 現状と課題

アンケートでひきこもりや子どもの貧困についての事案を聞いたことがあるという回答がある中で、こうした人々を取り残すことなく支援につなげていく必要があります。